

## ホントにこわい、シックハウス症候群

倦怠感や疲労感、なんとなく体調がすぐれない、現代人にはよくあることです。それがひどくなれば、お医者さんへ行くわけですが、そのほとんどが原因不明ということになります。体質とかストレスなどに結びつけるのが普通で、シックハウスと結びつける方はほとんどいないのではないのでしょうか。

目・鼻・のどへの刺激、唇の乾燥、皮膚の湿疹、アレルギー、疲労感、頭痛、めまい、吐き気、嘔吐などの症状が起きた場合、欧米では室内空気の汚染が有力な原因だとして、必ず室内環境の測定や診断を行います。

あるマンションに住む方から、結露・カビ診断の依頼がありました。部屋中にカビが発生しているという、最近急増中の悩みの相談です。

ご主人のお話を聞いてみると、勤務中はなんともないのだが、家に帰ると頭痛とめまいが起きるといことです。医師の診断では、仕事でストレスが溜まり、家に帰ると気がゆるみ、症状が出るのではないかということでした。実は共働きの奥さんも同じ症状です。子どもがお二人いるのですが、アレルギーがひどく、長い間通院しています。聞けば聞くほどシックハウス症候群の症状のように思われます。とにかく測定を試みようということになりました。

測定の結果、すべての部屋のホルムアルデヒドの濃度は、0.16~0.11でした。

厚生労働省の指針値は0.08です。

壁にはこびりついた黒いカビのほか、人の眼に見えにくい白いカビもたくさんあります。カビがあれば、必ずそれを食べるダニが生息します。このお宅には、ホルムアルデヒドの他に、カビの胞子やダニの死骸がまん延するという、とてもひどい室内環境だったのです。

応急処置として、洗面室の換気扇を常時作動させ、ドアや窓を少しだけ開けておくようにしました。臨時の24時間換気です。

丸一日で、室内の湿度が下がり、カラッとした室内空気になりました。三日目で、白カビが消え、カビ臭がなくなりました。しかも、ご夫婦の頭痛やめまいもなくなったということです。私自身、理論的には理解していたつもりですが、24時間換気の効果には目を見張るものがありました。このお宅の解決方法は24時間換気の設置だけです。その後ご家族は健康を取り戻し、快適に暮らしています。

人間は、有害物質の83%を肺(空気)から取り込み、食品は7%、飲料・水は8%にすぎません。

平成15年7月1日施行の建築基準法改正では、シックハウス対策が義務化され、以後の建物にはホルムアルデヒド含有建材の使用が禁止になり、24時間換気が義務付けられました。逆に言えば、それ以前の住宅の多くに、シックハウス症候群の危険があるということです。